

ゆずりはたより

令和6年2月1日（木）

2月号

調布市立飛田給小学校

<https://www.chofu-schools.jp/tobitakyu-syo>

tobitakyu-sho@chofu-schools.jp

「よりよい学校をつくるためのアンケート」のまとめ

校長 松田 隆

「よりよい学校をつくるためのアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。集計結果を以下のとおりにまとめましたので、お知らせします。

保護者の皆様の貴重なご意見は来年度の計画を立てる上で参考にしております。今年度のアンケートは、従来の書面方式を残しつつ、Google フォームでの回答方式により実施しました。回答率が昨年度の67%から47%に低下する結果となりました。変更についてのお知らせが十分ではなかったためと考えられます。来年度以降は、学校だよりやメール配信などでお知らせし、回答率の向上を図っていきます。多くの保護者の皆様のご意見を取り入れながら飛田給小学校の教育活動をより良いものにしていきます。ご協力のほど、よろしく願いいたします。

1 学校の教育目標について

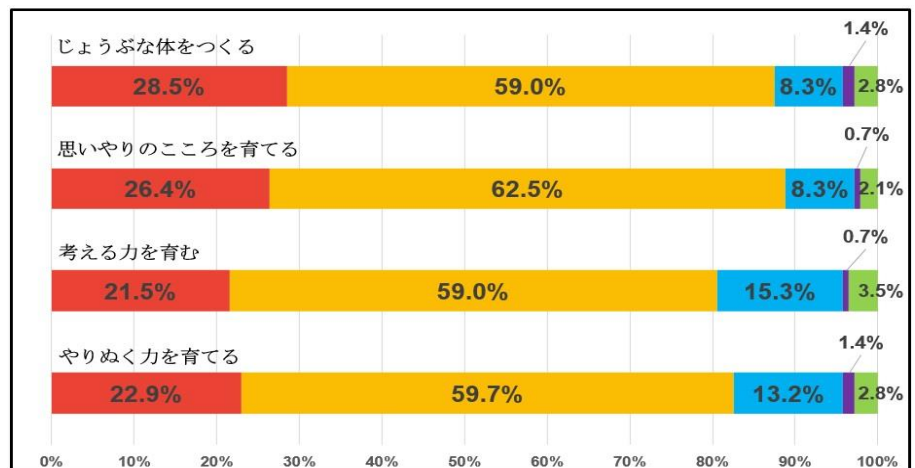
「じょうぶな体をつくる」では「できている」、「だいたいできている」という肯定的な回答が87.5%でした。しかし、『令和5年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査』における本校の児童の1週間の運動時間は全国・東京都の平均に比べて短く、体力調査の半数近くの種目においても同年代の子どもの平均より下回る結果でした。じょうぶな体を育むため、体育科の授業や体育行事を通して、より一層の体力向上を目指すとともに、楽しさを味わうことで運動の日常化につながるようにしていきます。

「思いやりのこころを育てる」については、開校以来受け継がれている人を敬い、多様性を尊重する「ゆずりの心」がアンケートの高い評価に表れています。今後も道徳科の授業や学校2020レガシーとして行っている様々な障害者理解教育、外国人留学生との交流を中心に、すべての教育活動で思いやりの心を育てていきます。

「考える力を育む」では、肯定的な回答が80.5%でした。本校では、令和3年度から「児童の思考力、判断力、表現力の育成」をテーマに校内研究（授業改善）に取り組んでいます。今年度は、国語科の「書くこと」に焦点を当てて研修や実践授業を行ってきました。自分の考えをもち、さらに考えを深めるための手立てを講じる中で、考える力の高まりが児童の記述に表れてきています。来年度も取組を継続し、考える力の向上を目指していきます。

「やりぬく力を育てる」では、肯定的な回答が82.6%でした。4年生から6年生児童対象の「令和5年度児童・生徒の学力向上を図るための調査」の「難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組んでいる」の質問項目においても「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」が80.4%とほぼ同じ数値でした。学習や学校行事に児童が目標を設定する場を設け、教職員が児童一人一人に合った適切なサポートをしていくことで児童一人一人の「やりぬく力」を育んでいきます。

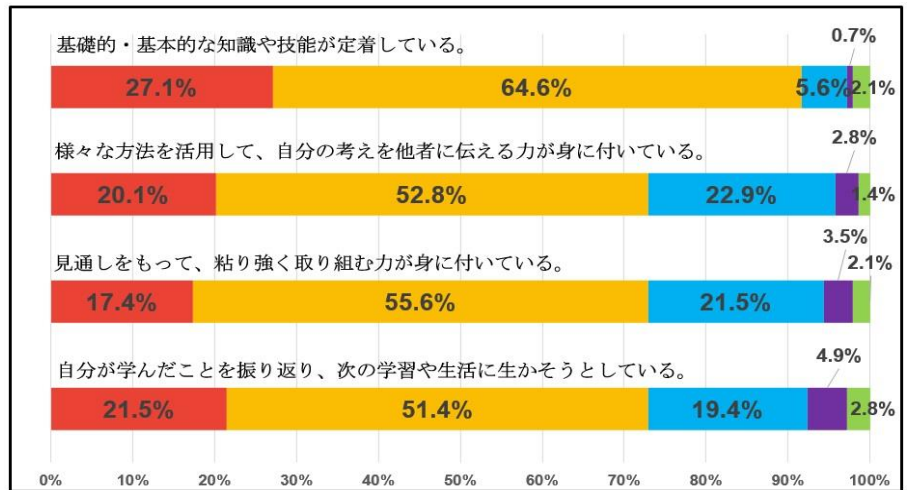
●できている ●だいたいできている ●あまりできていない ●できていない ●わからない



2 授業・学習面について

肯定的な回答が、「基礎的・基本的な知識や技能が定着している」で91.7%、「様々な方法を活用して、自分の考えを他者に伝える力が身に付いている」で72.9%、「見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付いている」が73.0%、「自分が学んだことを振り返り、次の学習や生活に生かそうとしている」が72.9%でした。「基礎的・基本的な知識や技能が定着している」は昨年度と同じ91%と評価が高く、この結果は週2回の朝学習の実施やドリルパークなどのタブレット端末を活用したドリル学習、保護者の方々と連携した家庭学習の成果と捉えています。「様々な方法を活用して、自分の考えを他者に伝える力が身に付いている」については、昨年度に比べて評価が下がりましたが、今年度は様々な教科で、小集団になって自分の考えを他者に伝える活動やICT端末を活用して考えを共有する活動を多く取り入れたことで、伝える力の高まりが表れてきています。今後は、そうした学習活動を授業公開や保護者会、ホームページなどでお伝えてしていきます。

● できている ● だいたいできている ● あまりできていない ● できていない ● わからない

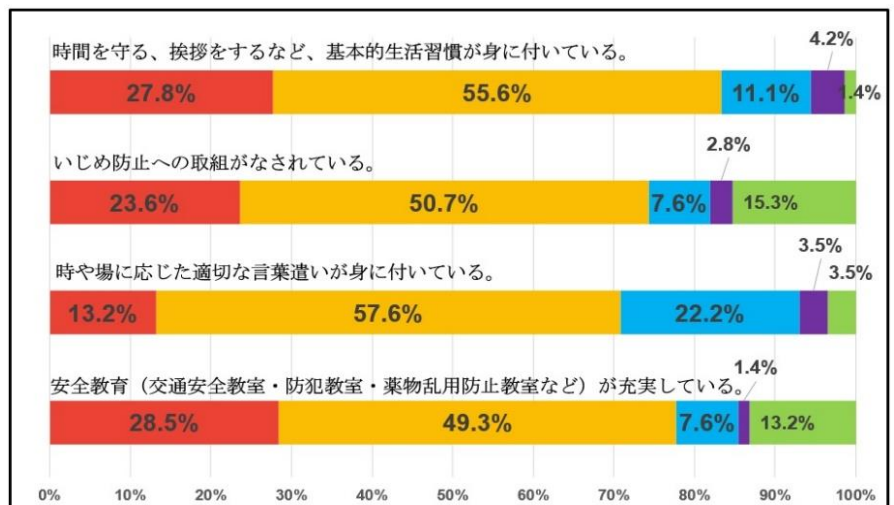


「様々な方法を活用して、自分の考えを他者に伝える力が身に付いている」については、昨年度に比べて評価が下がりましたが、今年度は様々な教科で、小集団になって自分の考えを他者に伝える活動やICT端末を活用して考えを共有する活動を多く取り入れたことで、伝える力の高まりが表れてきています。今後は、そうした学習活動を授業公開や保護者会、ホームページなどでお伝えてしていきます。

3 生活指導について

肯定的な回答が、「時間を守る、挨拶をするなど、基本的な生活習慣が身に付いている」で83.4%、「いじめ防止への取組がなされている」で74.3%、「時や場に応じた適切な言葉遣いが身に付いている」で70.8%、安全教育が充実している」で77.8%でした。「いじめ防止への取組がなされている」は昨年度より4%向上しました。児童からのいじめの訴えや生活アンケートにおいても、いじめに関する事案は、218件から120件に減少しました。これは、教職員が子ども同士の軽微なトラブルもいじめと捉え、その都度、担任や同じ学年の教諭、専科教諭、スクールカウンセラーなどで共有し、組織的に対応をしていることの成果として考えています。今後も子どもたちの心の機微に気を配りながら、組織的にいじめの未然防止、早期発見、早期解決を図っていきます。

● できている ● だいたいできている ● あまりできていない ● できていない ● わからない

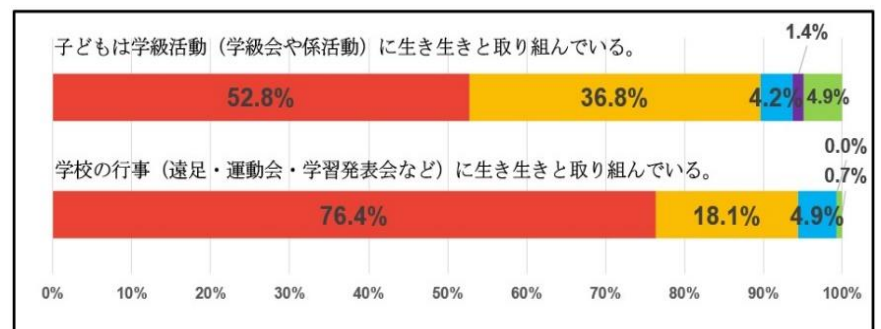


「いじめ防止への取組がなされている」は昨年度より4%向上しました。児童からのいじめの訴えや生活アンケートにおいても、いじめに関する事案は、218件から120件に減少しました。これは、教職員が子ども同士の軽微なトラブルもいじめと捉え、その都度、担任や同じ学年の教諭、専科教諭、スクールカウンセラーなどで共有し、組織的に対応をしていることの成果として考えています。今後も子どもたちの心の機微に気を配りながら、組織的にいじめの未然防止、早期発見、早期解決を図っていきます。

4 特別活動について

肯定的な回答が、「子どもは学級活動に生き生きと取り組んでいる」で89.6%、「学校の行事に生き生きと取り組んでいる」で94.5%でした。低学年から計画的に学級活動の話合い（学級会）を行い、学校全体で子どもたちが主体の学級活動が展開されていることが成果となって表れているのだと考えています。

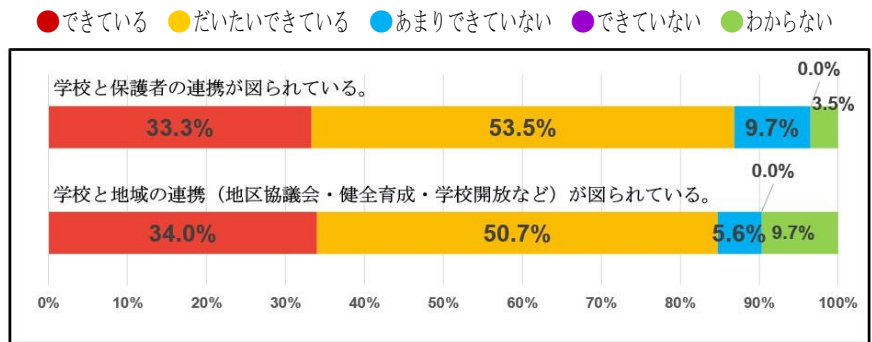
● できている ● だいたいできている ● あまりできていない ● できていない ● わからない



5 保護者、地域との連携について

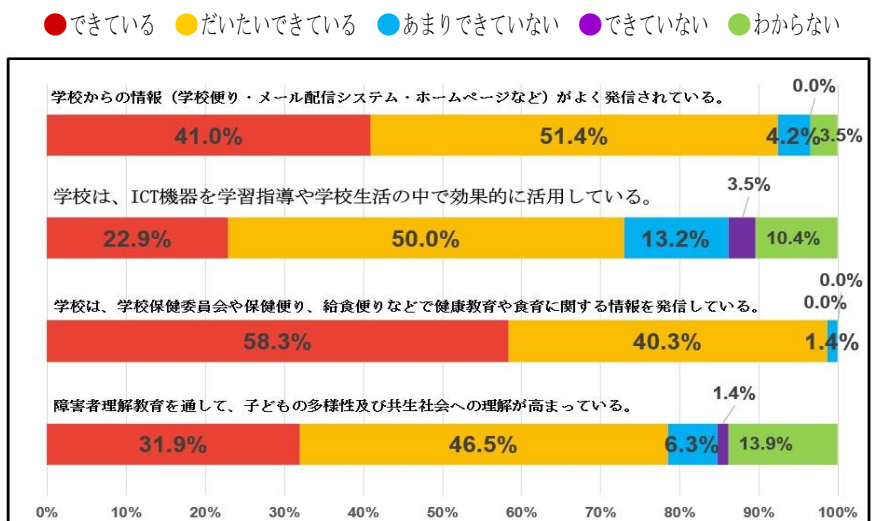
肯定的な回答が、「学校と保護者の連携が図られている」で86.8%、「学校と地域の連携が図られている」で84.7%でした。どちらも昨年度より高い評価でした。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに、保護者会や開放プール、地域運動会、ディキャンプなどの地域行事を行っている

ことが要因だと考えています。地区協議会、健全委員会、学校開放運営委員会、地域学校協働本部、PTA など多くの皆様に支えていただいているおかげで安心して教育活動を進めることができます。



6 その他

肯定的な回答が、「学校からの情報がよく発信されている」で92.4%、「学校は、ICT機器を学習指導や学校生活の中で効果的に活用している」で72.9%、「学校は、学校保健委員会や保健便り、給食便りなどで健康教育や食育に関する情報を発信している」で98.6%、「障害者理解教育を通して、子どもの多様性及び共生社会への理解が高まっている」で78.4%でした。今年度は、ICTの利活用に関する研修を多く実施し、授業の多くの場面でタブレット端末を活用するようになってきています。「わからない」が10%あることから、授業公開や学校HPで学校でのICT機器を活用した取組を伝えていきます。



7 ご意見（一部要約して掲載させていただいたものがあります。）

学習・学校生活について

- ① 授業参観時、おしゃべりが多く、もう少し落ち着いた環境が良いと感じたときがあった。
 - ➡ご指摘のとおり、学習規律を大切にして、落ち着いて学習することができる環境を整えることはとても重要です。担任だけでなく、全職員で児童に気付かせ、考えさせて行動につなげる指導を継続していきます。
- ② 朝と放課後の校庭の開放をしてほしいです。帰りの時間や見守りなどの課題はあるかもしれないのですが、休み時間も潰れることが多いようで、授業の集中力低下にもつながっていると思います。なるべく自由遊びの時間を確保していただきたいです。
 - ➡児童の居場所、活動の場づくりの大切さについて、貴重なご意見ありがとうございます。安全管理の見守り体制を整えることが難しいという人的問題もありますが、登下校の時刻が分散してしまうことを避けるという安全上の理由で、学校では朝・放課後の校庭開放を実施していません。なにとぞご理解くださるようお願いいたします。なお、放課後については、あそびばに登録することで校庭開放を利用することができます。
- ③ スマートフォンやタブレットを持っている子と持っていない子の間でからかひやいじめがないように指導してほしいです。
 - ➡スマートフォンやタブレットの所有については、それぞれのご家庭でお子様と話し合って決めていただくことであり、それがからかひやいじめにつながることはありません。学校生活はもちろんのこと、校外での生活においても、ご家庭と連携しながら児童の関わりの様子を把握し、いじめの未然防止、早期発見・解決に努めます。お気付きのことやご心配なことなどがありましたら、いつでもご相談ください。

- ④ 子どもたちが授業で iPad の使い方をどの程度身に付けているのか分からない。もう少しタイピングの練習など専門的な事を教えてもらいたい。
- ➡授業でタブレットを活用する場面が増えており、全体として子どもたちがどんどん上達している様子が見られます。タイピングについて、授業ではローマ字を学習する 3 年生以上で取り扱っていますが、習熟のためには日常的に使用して操作に慣れることが必要です。ご家庭とも連携しながら、毎日の自主学習や長期休業中の自由課題などで活用場面をさらに増やしていきます。
- ⑤ 6 年生は宿題の量を減らしてほしい。ドリルを写すだけでは漢字は覚えられないと思います。せめて自学のみにしてほしいです。
- ➡家庭学習は、当該学年の学習内容の定着や図ることや学習習慣を身に付けることをねらいとして取り組んでいます。一律に同じ課題ではなく、児童が選択できるようにするなど、在り方を検討していきます。
- ⑥ 図書室の本を 3 冊持ち帰れるようにしてほしい。
- ➡今年度から図書室に来た児童がたくさんの蔵書から本を選ぶように、図書の貸し出しを 3 冊から 2 冊に変更しています。早く本を読み終わった児童は、図書の時間だけでなく、休み時間を利用して本を借りることができます。
- ⑦ 日が短い時期は、あそびバ帰りの低学年の子たちが、暗い中歩いていて心配です。首から下げる小さいライトなど持たせるように進言してほしい。
- ➡児童の安全のための情報ありがとうございます。あそびバ職員と情報を共有し、ご家庭とも連携しながら対応していきます。
- ⑧ クラスの人数が多過ぎて、先生がどんなに頑張っても見切れない部分があると感じています。子どものためにも、先生のためにも、1 クラスの人数が減ることを希望します。
- ⑨ 上履き持って帰ったかチェックは不要だと思う。
- ⑩ 町探検や外部の人を招いた講演など、子どもたちの心身を育ててくれていると実感しています。特に学校外での活動は子どもも楽しみにしています。
- ⑪ いつも子供達への温かいフォローに感謝しています。
- ⑫ 息子は学校が大好きです。先生方のご指導のおかげで毎日楽しく通うことができます。本当にありがとうございます。
- ⑬ 自分だけではなく、皆で楽しむことを日々学んでいると感じます。

お知らせについて

- ① 保護者に関する行事や時間割変更(保護者会や道徳授業公開、講演会、5 時間授業→4 時間授業変更)は、最低でも 1 か月前には通知していただきたい。
- ② 保護者会の時間を早めに知りたい。
- ③ 5 年生になり、準備が必要な行事が増えました。事前に連合音楽会や宿泊学習など、例年の様子が少しでも分かれば衣装やカバンなど準備がしやすくなると思います。
- ④ お便りが見にくい。(詳しくは先日配ったしおりを参照してください、などとにかく紙が多い。スマホアプリなどに移行してほしい。
- ➡保護者の皆様に関する主な行事の日程は、年度当初に年間行事予定や保護者会資料でお知らせしていますが、時間、場所、内容などの詳細は 2～1 週間前にお知らせしている現状です。あらかじめ決まっていることについては、もっと早くお伝えするよう改善を図ります。また、メールや児童用タブレットでデータ化したお便りを送ることで、連絡を早めるとともにペーパーレス化につなげていきます。
- ⑤ 以前より学校 HP が更新されるようになり、様子が分かる。

健康・保健について

- ① 発熱で病院を受診した際に、学校の感染状況を聞かれることもあるので、学校で感染症による学級閉鎖が出た際には、他学年・他クラスにも通知(メール)をいただけると良いと思います。

- ➡不安につながってしまうこともあるため、学級閉鎖などの詳しい情報を全校にお知らせすることはしていませんが、感染拡大を防ぐための情報発信が大切であるとはご指摘のとおりです。安全・安心メールなどで、市内の感染状況、校内の感染状況、週末の過ごし方で留意していただきたいことなど、より丁寧にお知らせするよう努めます。
- ② 日光移動教室でインフルエンザのクラスターがおきました。学校行事でのクラスターであるのに学校から説明がなかったことが残念です。今回、出発前検診を金曜日に行い、土日ははさんで月曜日に出発だったことはクラスターの大きな原因と思っています。これを十分に考慮し、来年度以降は、出発前検診は出発日前日に行うべきだと調布市の学校で共有していただきたい。
- ➡6年生の日光移動教室では、発熱、体調不良（インフルエンザA型）の児童が多数出てしまい、大変ご心配をおかけしました。現地宿舎に迎えをお願いした家庭も複数ありました。ご対応本当にありがとうございました。ご指摘のとおり、事前健診は出発直前（前日）に実施することが基本ですが、月曜日出発の場合はやむを得ず前の週の金曜日を実施することとなります。現状の問題点については、教育委員会に報告し、市内小学校で共有します。出発当日の体調確認、現地での柔軟な行程変更などをより丁寧に行うよう改善に努めます。
- ③ 合成洗濯洗剤や柔軟剤による香害に対する取組を行うようにお願いします。給食当番が着用する『共有の給食エプロン』ですが、他の家庭で洗濯された給食エプロンが合成洗剤臭くとても不快です。共有の給食エプロンの『廃止』もしくは『選択制』となるよう対応をお願いします。
- ➡香りや化学物質などで体に影響が出る場合があることについて、学校でより丁寧に対応するとともに保護者の皆様にも情報提供し、啓発を図っていきます。特別な配慮が必要な場合には、個別にご相談ください。
- ④ 先日若葉小学校で行われた、「子どもの命をまもる性教育～こころとからだのしあわせ講座」が性教育にとどまらず、子どもや保護者の心やSNS被害から守るための知識など、素晴らしいセミナーでした。飛田給小学校でもご検討をお願いします。
- ➡貴重な情報をありがとうございます。学校が実施する学校保健委員会、PTAが実施する家庭教育セミナーなどで取り上げることが考えられます。次年度以降の参考にさせていただきます。

2月の行事予定

1日	木	市ふれあい月間 支援集会 新1年保護者会（1・2年4時間授業）	16日	金	
2日	金	理科・社会科見学（4年）	17日	土	
3日	土		18日	日	
4日	日		19日	月	全校朝会
5日	月	全校朝会 避難訓練	20日	火	とびっ子引き継ぎ（5,6年リーダー）
6日	火	とびっ子サミット（6年） 郵便局見学予備日（2年）	21日	水	親子音楽会
7日	水	安全指導 授業公開（午前のみ） 4時間授業（1～4年） 委員会⑩（5校時） マラソンタイム最終日	22日	木	保健集会
8日	木	授業公開（午前のみ） 児童集会 マラソンチャレンジ	23日	金	天皇誕生日
9日	金	授業公開（午前のみ） 書き初め展終	24日	土	第五中学校出前授業（6年）
10日	土		25日	日	
11日	日	建国記念の日	26日	月	全校朝会 保護者会（中） 5時間授業（3,4年） 第五中学校出前授業（6年）
12日	月	振替休日	27日	火	保護者会（高）卒業を祝う会（6年） 5時間授業（5,6年）
13日	火		28日	水	4時間授業
14日	水	第五中学校出前授業[図書]（6年2組）	29日	木	音楽朝会 保護者会（低） 6年生を送る会リハーサル
15日	木	とびっ子タイム			

卒業、進級に向けての準備期間

生活指導担当

厳しい寒さが続いています。調布市内、また本校でも様々な感染症が増えてきており、手洗い、うがい、マスク、換気にこれまで以上に努めていきたいです。学校は1年間のまとめの時期になります。現在の学年の学習や学年に応じた生活習慣がしっかり身に付いたかを確認する大切な時期です。健康に気を付けて、卒業・進級に向けて充実した学校生活を送ってほしいと思います。

4年生



初めてのクラブ活動

サッカークラブはいつも練習をしたり、ミニゲームなどをしてしています。サッカークラブのよかったところは、6年生が準備のときに声をかけて準備をしてくれたり、他にもビブスをきれいにたたんでくれたりすることです。自分ががんばったところは、ゴールを持ったりタイヤを運んだりラインを引いたりすることです。サッカーが初めての人でも楽しめます。

4-1 児童

私は、タブレットクラブに入りました。私がタブレットクラブで1番頑張ったことは撮影です。撮影でブレないように撮るのが難しかったです。音楽もその動画に合う音楽を探さないといけないので少し大変でした。やっていくうちに撮影の仕方や上手く撮れるコツなどが少し分かってきて、最初に撮影したときより良い写真が撮れました。

4-2 児童

私は、手芸クラブで、友達に分らないことを教えてもらいながら、自分の決めた作品を作りました。自分だけで作るより友達と作った方が楽しかったです。また、友達が作る作品も手芸クラブの楽しみになりました。5年生になっても手芸クラブをやりたいです。5年生では、友達を手芸クラブにさそって一緒にやりたいです。

4-1 児童

科学クラブで楽しかったことは、6月くらいにアイスキャンディーを作ってその場で食べて、とても美味しかったことです。アイスキャンディーを作ったときは、氷が溶けないように塩を氷の上にかけて続けます。味はオレンジジュースを使ってオレンジジュース味にしました。さらに、みんなの中で僕が1番早く作り終わったので、とても嬉しかったです。

4-2 児童

バドミントンクラブは、皆で協力して楽しく活動しています。私がクラブで楽しいことは、違うチームの人と対戦することです。学年も違う人もいますが、戦うおかげで自分も強くなっていきました。バドミントンが好きな人もオススメです、好きだけあまりできない人も、練習すれば強くなります。ぜひ友達と一緒にしてみてください。

4-1 児童

ぼくは、ボードカードゲームクラブに入って、自分の知らないカードゲームをたくさん知りました。例えば、ヘビゲームや人狼です。さらに説明からスタートしてくれるので、知らないゲームでも楽しく遊べます。そして、高学年とやるので、そのゲームの面白さがさらに分かります。これからも知らないゲームを知ってたくさん楽しみたいです。

4-2 児童

初めてのクラブで鬼遊びクラブでしたが、とても楽しかったです。陣取りゲームという知らないゲームをしたり、ケイドロやふやし鬼ごっこなど知っているゲームもたくさんしたりしました。自分が鬼のとき、6年生は全然捕まえられなかったけど、5年生と自分と同じ学年は、捕まえられました。逆に自分が逃げるときは、6年生には捕まえられたけど、5年生と同じ学年は、あまり捕まえられませんでした。これが上級生との差だと感じました。これからも、楽しくクラブ活動を続けたいです。

4-1 児童

鬼遊びクラブで楽しかったことは、6年生対4、5年生でやった陣取りです。1回しか勝てなかったけど勝って嬉しかったです。陣取りの他にも増やし鬼などをしました。増やし鬼では、私は鬼をしました。友達と協力してたくさんの人を捕まえました。鬼遊びクラブでいろいろな鬼ごっこをしたので、鬼ごっこが好きになりました。来年も鬼遊びクラブに入ろうと思いました。

4-2 児童